5～6年	記事を読み比べよう
国語　社会・総合	

年　　組　　番　名前

☆右の記事の見出しの○○に共通している漢字２文字を書こう。

☆これらの記事の感想を書き、発表し合おう。

コピーを児童に渡す際、下記の指導アドバイスの部分は消してからコピーしてください。

※指導する先生や保護者の皆様へ

新聞記事を比較しながら読み込み、その共通点や相違点を考えることで、内容への理解を深め、より正しい判断ができるようになる、情報リテラシーを身に付けることができます。

平成23年（2011年）7月8日（金曜日）　朝刊 6ページ

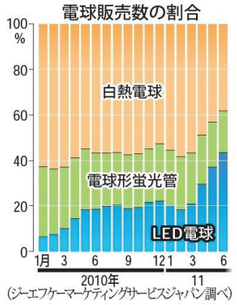
LED、白熱電球超える

節電、価格低下が追い風

6月の販売

電力消費量の少ない発光ダイオード（LED）電球の6月の販売数が、初めて月間で白熱電球を上回ったことが、調査会社ジーエフケーマーケティングサービスジャパン（東京）の調べで7日、分かった。節電意識の浸透や価格低下が貢献し、LED電球は電球全体の販売数の43・5％を占め、白熱電球の38・2％を上回った。リコーが同日、LED照明を発表するなど販売競争も激しくなっている。

リコーが発売するLED照明「クラーテPシリーズ40形」



（ジーエフケーマーケティングサービスジャパン調べ）

LED電球のシェアは2％と上昇した。白熱電球は震災前は6割近くの割合を占めていたが、急激に低下した。ジーエフケーは全国約4千の家電量販店を対象に調査した。

東日本大震災前は2割近くで推移していたが、震災後に販売が大きく上昇。企業や家庭の買い替え需要が後押し、4月は29・6％、5月は37・1％。

調査会社の富士経済（東京）が震災前にまとめた、電球を含めたLED照明全体の市場規模予測によると、2010年の865億円が11年に1650億円に上昇する見通し。

リコーが7月末に発売するLED照明は、蛍光灯の代わりに取り付けられる細長い形の価格が1本、2万2千円。工事を必要とせずに簡単に取り換えられる。リコーはLED照明の売り上げを13年度、1千億円以上の規模に育てる考えだ。東京・銀座の商業ビル「三愛ドリームセンター」の照明をLEDに切り替えるイベントも7日夜実施。

LED照明を既に販売している日立アプライアンスは、蛍光灯からの取り換えをしやすい設計を取り入れた新製品を13日から販売する。

平成23年（2011年）7月5日（火曜日）　朝刊 6ページ

うちわ注文殺到

節電の夏…

香川・丸亀 休日返上

「骨が足りない」

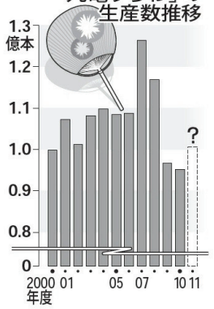
注文が殺到する香川県丸亀市のうちわ製造工場＝6月29日

うちわ製造の国内シェア9割とされる香川県丸亀市で、うちわ生産のピークが続いている。福島第1原発事故による全国的な節電志向で注文が殺到し、業者は休日を返上。プラスチック製の「骨」の生産が追いつかず、新規受注に対応できないケースも出ている。

丸亀市内の小規模な6業者でつくる「香川県団扇（うちわ）商工業協同組合」の山下清代表理事によると、例年なら1日に計約3万本を製造するが、今年は2割ほど受注が増えた。通常のピークは6～7月中旬だが、今年は5月から本格的な生産が始まった。

各業者は組合で共有する工場の機械を休日に稼働したり、稼働時間を延長したりして対応。男性職員は「いつもは夕方には作業を終えているんだけど…」と戸惑いの表情だった。

受注急増で、台紙を貼るプラスチック製の骨の不足が深刻化。骨を作る県内の業者は「1年間かけて6～7月の出荷分を作るので、急には用意できない」と打ち明けた。工場は24時間フル稼働しているが、新規の注文は断っている。

うちわ業者でつくる香川県うちわ協同組合連合会によると、丸亀うちわの年間生産総数は2001年度から1億本以上を続け、07年度には過去最高の1億2633万本を記録したが、09年度から1億本を割り込んでいる。

山下代表理事は「節電の必要性は今年だけではないはず。うちわの価値の見直しにつながるとうれしい」と話している。